

1 主題構成表

主題名 ともだちの きもちを おもう ころ  
 資料名 二わの ことり

■内容項目 B 友情, 信頼  
 友達と仲よくし, 助け合うこと。

■ 価値の分析

- ・児童にとって, 友達関係は最も重要な人間関係の一つであり, それによって学校生活が充実するかどうか方向づけられることも少なくない。よりよい関係を築くため, 互いに認め合い, 理解し合い, 協力し, 助け合い, 信頼感や友情を育んでいくことが大切である。
- ・身近な友達でも, 性格の違い, 得意不得意の違いなど自分と違う点がある。しかし, 自分と違うからと言って相手を嫌ったり否定したりすれば, けんかや対立となり, お互いに心が不安定になってしまう。しかし, 人間には, 人と対立をしたり争ったりすれば, 心の底で何とか仲直りをしたいと思う心がある。
- ・低学年においては, 幼児期の自己中心性から十分に脱しておらず, 友達の立場を理解したり自分と異なる考えを受け入れたりすることが難しい。しかし, 共に生活したり, 困っている友達のことを心配し助け合ったりする経験の中で, 友達のよさを感じていく。そのため, 友達と一緒に活動して楽しかったことや友達と助け合っってよかったことを考えさせながら, 友達と仲よくする大切さを育んでいけるようにしていきたい。

■内容項目から見た児童の実態  
 (意識)

- ・友達と一緒に遊ぶことができ嬉しうと感じる児童が増えてきたが, 自分がやりたい遊びをしている友達と一緒に遊ぶことはあるが, 自分のやりたいことと違う遊びをしている友達と合わせることはしない児童も多い。
- ・友達が困っていても, 手を貸すことができないことがある。
- ・友達の気持ちを考えることができず, ちょっかいをかけてしまい, 相手にいやな思いをさせてしまうことが多い。

(要因)

- ・友達との関わりが増えてきた。また, 「よいこと見つけ」を通して, 友達のよさにも目を向けようとする児童が増えてきた。
- ・自己中心性が強く, 自分のやりたいことが最優先で友達の気持ちを考える力が弱い。
- ・自分がやりたい遊びが最優先で, 友達と関わって遊ぶことが楽しいと感じる経験が少ない。
- ・周りの状況が分からず, 友達が困っていることを自分事として考えることができない。
- ・友達の為に何かをし, 友達が喜んでくれた嬉しかったという経験が少ない。

■資料の分析

- ・この資料は, 二羽の小鳥の友情を感じるができる資料である。  
 みそさざいは, みんなと一緒にうぐいすの家に行こうか, 今日, 誕生日のやまがらの家に行こうか迷う。やまがらの家は, 暗くて寂しい場所である。反対に, うぐいすの家は, 明るく楽しそうな場所にある。小鳥たちは, みんなうぐいすの家に飛んでいくので, みそさざいも先約のやまがらの家に行くべきだとは思うが, うぐいすの家へと向かった。しかし, 誕生日に友達が来るのを待っているやまがらの気持ちを思うと楽しいはずもなく, やまがらの家へと向かう。この, うぐいすの家かやまがらの家とで葛藤する, みそさざいの気持ちを考えさせることで, 自己理解と人間理解を深めることができる。
- ・やまがらが喜んでくれた姿を見たみそさざいの気持ちを考えることで, 友達の喜びが自分の喜びにつながることに気付かせ, 友達のよさや温かさを感じ取らせたい。

■ねらい  
 相手の気持ちを受け止めて行動することの大切さに気付き, 身近にいる友達の気持ちを考えて, 助け合っって生活しようという心情を育てる。

■他の教育活動との関連

事前	本時	事後
学級活動 学級遊びについて考えよう。 ・みんなが気持ちよくあそぶことができる。	『二わの ことり』 B 友情, 信頼	帰りの会 よいこと見付け ・仲間のよい行動について考えることができる。

日常生活：相手の気持ちや立場を考えようとするすることができる。

## 2. 学習指導過程

	基本発問と予想される児童の反応	指導・援助
導入	<p>◇友達について考えることを知り、登場人物の確認をする。</p> <p>○「みそさざい」「うぐいす」「やまがら」「ことりたち」が出てくるが、みそさざいになって考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物を確かめ、「みそさざい」の気持ちを考えることを確かめる。</li> </ul>
展開前段	<p>◇資料の前半（118ページ6行目まで）を読み、みそさざいの気持ちについて考える。</p> <p>○やまがらに誕生日のお祝いに誘われながらも、みんなと一緒にうぐいすの家に向かって飛んでいる時、みそさざいは、どんな気持ちだったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなうぐいすの家に行くから、自分も行こう。</li> <li>・みんながいて楽しそうだから、行こう。</li> <li>・やまがらさんの方にも、行った方がいいのかな。</li> </ul> <p>◇資料の後半（118ページ7行目から）を読み、みそさざいの気持ちについて考える。</p> <p>◎みそさざいは、どんなこと思って やまがらの 家へ とんでいったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・やまがらさん、大丈夫かな。</li> <li>・だれも行かないから、やまがらさんがかわいそう。</li> <li>・やまがらは、誕生日にひとりぼっちなんてつらいだろう。</li> <li>・ぼくが行ったら喜ぶかな。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>【深めの発問】</b></p> <p>○うぐいすの家は、明るくてみんなもいて、ごちそうもあって楽しい所だけれど、それでもやまがらの家に行くのは、どんな気持ちからでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・やまがらさんのことを大切にしている。</li> <li>・やまがらさんが、寂しい気持ちでいるかもしれない。</li> <li>・ぼくだけでも行ったら、やまがらさんは、喜んでくれるだろう。</li> </ul> </div> <p>○「よく きてくれましたね。きょうは だれも きれくれないかとおもっていたのに。」と涙をうかべて 大喜びをするやまがらの様子を見た みそさざいはどんな気持ちだったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みそさざいさん、おそくなって ごめんね。</li> <li>・来て、よかった。</li> <li>・やまがらさんが、喜んでくれてうれしいよ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・うぐいすの明るい家、やまがらの暗い家が分かるよう黒板に視覚的に場面を表す。</li> <li>・主人公になりきって、迷う気持ちはもちながらも、自分にとって、楽しそうな方にひかれてしまったり、大勢に流されてしまったりする気持ちに気付かせ、人間理解を深める。</li> <li>・一人こっそり抜け出して、やまがらの家に向かう主人公の気持ちについて考えさせる。</li> <li>・「やまがらさんの家は、暗くて寂しい所にあるよ。それでも、行くの？」 「みそさざいさんは、やまがらさんだけでがなく、うぐいすさんの家からも誘われていたのだから、行けなくても仕方ないのではないか。」などと問いかけし、みそさざいがやまがらの気持ちを考えて行動していることに気付かせる。</li> <li>・「やっぱりきてよかったな」と思うみそさざいの気持ちを深く考えることで、友達を思いやる気持ちが自分の喜びにもつながることに気付かせる。</li> </ul>
展開後段	<p>◇本時の授業で感じたことをもとに、自己を見つめる。</p> <p>○友達の気持ちを考えて、友達に優しくしてあげたことはありますか。その時、どんな気持ちでしたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達が、水をこぼした時に一緒に拭いてあげることができた。優しくしてあげることができて嬉しかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の気持ちを考えてしてあげたことを振り返る。</li> <li>・書くことに抵抗がある児童もいるため、何名かに発言させてから自己の振り返りをカードに書いていく。</li> </ul>
終末	<p>◇教師の説話を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の具体的な姿を提示する。</li> </ul>